

亜鉛及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	日の出測定局	一般環境	12	43	17	~ 70
埼玉県	さいたま市大宮区	大宮区役所	一般環境	12	68	14	~ 210
埼玉県	さいたま市中央区	健康科学研究センター	一般環境	12	51	13	~ 160
埼玉県	さいたま市浦和区	さいたま市役所測定局	一般環境	12	53	13	~ 170
埼玉県	熊谷市	熊谷局	一般環境	12	45	1.1	~ 96
埼玉県	所沢市	北野測定局	一般環境	4	55	28	~ 120
埼玉県	所沢市	教育センター	一般環境	12	66	18	~ 130
埼玉県	加須市	環境科学国際C局	一般環境	12	45	15	~ 79
埼玉県	東松山市	東松山局	一般環境	12	61	28	~ 130
埼玉県	春日部市	春日部市役所	一般環境	12	73	27	~ 140
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	84	40	~ 150
新潟県	長岡市	長岡工業高校局	一般環境	11	41	(2.7)	~ 79
新潟県	糸魚川市	糸魚川局	一般環境	12	47	(6.9)	~ 91
新潟県	南魚沼市	六日町局	一般環境	12	35	12	~ 80
新潟県	北蒲原郡聖籠町	次第浜局	一般環境	12	23	(2.4)	~ 56
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	65	14	~ 170
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	130	24	~ 330
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	50	12	~ 96
福岡県	大牟田市	国設大牟田局	一般環境	12	180	44	~ 520

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、[?] < (該当月の検出下限値) _? として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、[?] (測定値) _? として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

亜鉛及びその化合物(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
埼玉県	秩父市	秩父市役所	発生源周辺	12	48	4.9	~ 120
新潟県	燕市	燕局	発生源周辺	12	50	8.1	~ 170
新潟県	妙高市	大崎局	発生源周辺	12	35	7.2	~ 69
新潟県	上越市	西福島局	発生源周辺	12	89	10	~ 220
福岡県	大牟田市	新地局	発生源周辺	12	330	38	~ 810
大分県	津久見市	津久見市役所局	発生源周辺	12	45	2.6	~ 99

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

亜鉛及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	川南測定局	沿道	12	43	20	~ 93
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	100	28	~ 140
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	170	53	~ 260
大阪府	四條畷市	國設四條畷交通環境測定局	沿道	12	69	31	~ 130
福岡県	大牟田市	上内局	沿道	12	61	15	~ 140

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

アクリル酸エチル(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	(0.022)	(< 0.012)	~ (0.07)
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	(0.0050)	(< 0.010)	~ (< 0.010)
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	(0.0050)	(< 0.010)	~ (< 0.010)
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	(0.0050)	(< 0.010)	~ (< 0.010)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

アクリル酸エチル(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	(0.023)	(< 0.012)	~ (0.08)
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	(0.039)	(< 0.012)	~ 0.26
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	(0.0050)	(< 0.010)	~ (< 0.010)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

アクリル酸メチル(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	(0.056)	(0.026)	~ 0.13
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	(0.0040)	(< 0.008)	~ (< 0.008)
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	(0.0040)	(< 0.008)	~ (< 0.008)
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	(0.0040)	(< 0.008)	~ (< 0.008)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

アクリル酸メチル(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	(0.063)	(0.027)	~ 0.16
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.12	(0.04)	~ 0.42
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	(0.0040)	(< 0.008)	~ (< 0.008)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{(該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値) 』 として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

アクロレイン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
神奈川県	小田原市	小田原市役所局	一般環境	4	0.11	0.021	~ 0.25
神奈川県	秦野市	秦野市役所局	一般環境	4	0.11	0.025	~ 0.24
神奈川県	厚木市	厚木市役所局	一般環境	4	0.14	0.041	~ 0.23

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

アクロレイン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
神奈川県	大和市	大和市深見台交差点局	沿道	4	0.18	0.098	~ 0.26

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値) 』 として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

アンチモン及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	1.0	0.32	~ 2.5
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	1.9	0.61	~ 4.5
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	1.3	0.39	~ 3.4
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	2.1	1.0	~ 5.3

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

アンチモン及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	2.0	0.63	~ 3.7
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	3.1	1.4	~ 5.4
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	2.6	1.2	~ 6.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

インデノ[1.2.3-c.d]ピレン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.25	0.077 ~	0.57
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.28	0.049 ~	1.1
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.34	0.035 ~	1.0
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.22	0.059 ~	0.74

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

インデン[1.2.3-c.d]ビレン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.24	0.055	~ 0.79
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.14	0.037	~ 0.26
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.28	0.040	~ 0.93

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\overset{\circ}{\text{ }} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\overset{\circ}{\text{ }} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

エチルベンゼン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	日の出測定局	一般環境	12	0.72	0.17	~ 1.9
東京都	中央区	中央区晴海局	一般環境	12	1.4	0.85	~ 2.1
東京都	新宿区	国設東京新宿局	一般環境	12	1.4	0.84	~ 2.3
東京都	大田区	大田区東糀谷局	一般環境	12	2.8	1.1	~ 4.7
東京都	世田谷区	世田谷区世田谷局	一般環境	12	1.5	0.71	~ 2.8
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	2.4	1.3	~ 5.0
東京都	板橋区	板橋区本町局	一般環境	12	1.9	0.95	~ 3.0
東京都	練馬区	練馬区石神井町局	一般環境	12	1.4	0.62	~ 2.2
東京都	足立区	足立区西新井局	一般環境	12	1.8	0.87	~ 3.4
東京都	江戸川区	江戸川区春江町局	一般環境	12	1.3	0.29	~ 2.3
東京都	八王子市	大楽寺町局	一般環境	12	1.6	0.55	~ 3.2
東京都	八王子市	片倉町局	一般環境	12	1.8	0.98	~ 3.3
東京都	小金井市	小金井市本町局	一般環境	12	1.5	0.73	~ 2.6
東京都	東大和市	東大和市奈良橋局	一般環境	12	1.7	0.39	~ 2.7
東京都	西多摩郡檜原村	西多摩郡檜原局	一般環境	12	0.57	0.12	~ 1.4
神奈川県	相模原市中央区	市役所測定局	一般環境	4	3.0	1.9	~ 3.9
神奈川県	小田原市	小田原市役所局	一般環境	4	1.1	0.23	~ 2.5
神奈川県	秦野市	秦野市役所局	一般環境	4	2.7	0.51	~ 4.7
神奈川県	厚木市	厚木市役所局	一般環境	4	2.3	0.95	~ 3.1
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	1.9	0.68	~ 3.8
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	1.4	0.38	~ 3.6
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	1.9	0.76	~ 3.2
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	1.4	0.30	~ 2.8
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	0.67	0.13	~ 1.6

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $^{\circ}$ < (該当月の検出下限値) $^{\circ}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $^{\circ}$ (測定値) $^{\circ}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

エチルベンゼン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	川南測定局	沿道	12	0.92	0.19	~ 2.6
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	2.1	1.4	~ 3.4
東京都	江東区	京葉道路亀戸局	沿道	12	1.7	0.67	~ 2.5
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	3.8	1.5	~ 9.4
東京都	世田谷区	環八通り八幡山局	沿道	12	1.8	0.86	~ 3.6
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	3.1	1.6	~ 5.7

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

塩化アリル(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	(0.0081)	(0.0014)	~ (0.015)
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	(0.0085)	(< 0.0028)	~ (< 0.03)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

キシレン類(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	0.89	0.15	~ 1.9
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	0.86	0.21	~ 3.2
北海道	千歳市	日の出測定局	一般環境	12	1.7	0.38	~ 5.6
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	0.75	0.10	~ 1.5
宮城県	遠田郡涌谷町	国設鹿岳局	一般環境	11	0.13	(< 0.04)	~ 0.23
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	0.64	0.15	~ 1.3
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	0.75	0.38	~ 1.7
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	1.9	0.93	~ 3.2
埼玉県	さいたま市中央区	健康科学研究センター	一般環境	12	2.7	1.3	~ 7.5
埼玉県	さいたま市浦和区	さいたま市役所測定局	一般環境	12	2.7	0.97	~ 7.2
埼玉県	川越市	川越市川越測定局	一般環境	12	2.4	1.0	~ 6.2
埼玉県	熊谷市	熊谷局	一般環境	12	1.6	0.54	~ 3.0
埼玉県	所沢市	北野測定局	一般環境	12	7.6	1.5	~ 18
埼玉県	加須市	環境科学国際C局	一般環境	12	1.3	0.48	~ 2.3
埼玉県	東松山市	東松山局	一般環境	12	1.7	0.85	~ 3.4
埼玉県	春日部市	春日部市役所	一般環境	12	1.7	0.66	~ 3.2
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	2.3	1.2	~ 5.1
埼玉県	越谷市	東越谷局	一般環境	12	1.9	0.71	~ 4.4
東京都	中央区	中央区晴海局	一般環境	12	1.9	1.2	~ 2.6
東京都	新宿区	国設東京新宿局	一般環境	12	1.8	1.1	~ 2.7
東京都	大田区	大田区東糀谷局	一般環境	12	3.1	1.5	~ 4.5
東京都	世田谷区	世田谷区世田谷局	一般環境	12	2.1	1.2	~ 3.7
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	2.2	1.6	~ 4.0
東京都	板橋区	板橋区本町局	一般環境	12	2.4	1.3	~ 4.1
東京都	練馬区	練馬区石神井町局	一般環境	12	1.8	0.81	~ 2.8
東京都	足立区	足立区西新井局	一般環境	12	2.6	1.3	~ 5.9
東京都	江戸川区	江戸川区春江町局	一般環境	12	1.8	0.43	~ 3.2
東京都	八王子市	大楽寺町局	一般環境	12	2.1	0.99	~ 3.1
東京都	八王子市	片倉町局	一般環境	12	2.3	1.3	~ 3.7
東京都	小金井市	小金井市本町局	一般環境	12	1.8	0.80	~ 2.6
東京都	東大和市	東大和市奈良橋局	一般環境	12	2.1	0.64	~ 3.2
東京都	西多摩郡檜原村	西多摩郡檜原局	一般環境	12	0.51	0.20	~ 0.91
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	2.6	1.7	~ 3.9
神奈川県	小田原市	小田原市役所局	一般環境	4	1.4	0.41	~ 3.2
神奈川県	秦野市	秦野市役所局	一般環境	4	3.0	0.67	~ 4.8
神奈川県	厚木市	厚木市役所局	一般環境	4	2.7	0.95	~ 3.8
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	1.4	0.82	~ 1.9
新潟県	長岡市	長岡工業高校局	一般環境	11	1.3	(0.37)	~ 3.9
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	2.0	0.29	~ 4.1
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	0.89	0.34	~ 2.0
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	2.1	1.0	~ 4.6
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	3.3	0.88	~ 6.1
愛知県	名古屋市中千種区	国設名古屋局	一般環境	12	3.1	0.54	~ 7.2
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	1.9	(0.13)	~ 6.6
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	1.6	(0.23)	~ 5.0
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	1.9	0.65	~ 3.9
大阪府	大阪市平野区	摂陽中学校局	一般環境	12	3.0	0.76	~ 6.9
大阪府	大阪市北区	菅北小学校局	一般環境	12	2.4	0.77	~ 4.7
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	1.5	0.38	~ 3.5
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	3.5	1.1	~ 5.5
奈良県	天理市	天理局	一般環境	12	0.99	(< 0.6)	~ 2.1
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	3.1	1.6	~ 6.1
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	2.4	0.94	~ 4.3
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	0.64	0.26	~ 1.2
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.14	(0.016)	~ 0.29
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	2.8	1.1	~ 6.6
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	1.2	0.46	~ 2.8
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	1.1	0.53	~ 2.0
高知県	南国市	南国大篠測定局	一般環境	12	0.93	0.40	~ 1.7
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	1.7	0.56	~ 3.0
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	1.3	0.64	~ 2.6
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	1.2	0.38	~ 3.4
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	1.9	0.31	~ 7.4
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	0.38	0.11	~ 0.72
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	0.71	0.28	~ 1.3
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	0.16	(< 0.04)	~ 0.40

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 ^\circ < (該当月の検出下限値) ^\circ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 ^\circ (測定値) ^\circ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

キシレン類(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	1.1	0.29	~ 3.0
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	0.56	0.15	~ 1.9
埼玉県	草加市	草加工業団地公園	発生源周辺	12	2.7	0.69	~ 7.0
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	0.95	0.20	~ 1.5
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	2.3	1.0	~ 3.6
新潟県	燕市	燕局	発生源周辺	12	1.1	(0.34)	~ 2.7
新潟県	妙高市	大崎局	発生源周辺	12	0.72	(0.33)	~ 1.3
新潟県	上越市	西福島局	発生源周辺	12	1.4	(0.16)	~ 3.8
新潟県	胎内市	中奈局	発生源周辺	12	0.60	(0.16)	~ 1.2
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	1.9	0.72	~ 5.2
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	4.2	0.83	~ 9.9
大阪府	大阪市大正区	平尾小学校局	発生源周辺	12	3.3	1.7	~ 8.9
大阪府	大阪市城東区	聖賢小学校局	発生源周辺	12	2.7	0.88	~ 4.9
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	0.50	0.21	~ 1.0
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	1.2	0.17	~ 4.6
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	0.83	0.22	~ 1.7
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	0.87	0.22	~ 2.7

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

キシレン類(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	川南測定局	沿道	12	2.6	0.57	~ 8.2
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	2.6	0.83	~ 11
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	4.2	1.4	~ 11
埼玉県	さいたま市西区	三橋自排測定局	沿道	12	3.1	1.3	~ 10
埼玉県	さいたま市南区	曲本自排測定局	沿道	12	4.5	1.8	~ 11
埼玉県	さいたま市岩槻区	西原自排測定局	沿道	12	6.6	2.5	~ 12
埼玉県	川越市	川越市仙波測定局	沿道	12	3.1	0.85	~ 6.8
埼玉県	所沢市	和ヶ原測定局	沿道	12	6.9	2.3	~ 15
埼玉県	草加市	草加市花栗自排局	沿道	12	2.6	0.80	~ 7.3
埼玉県	戸田市	戸田美女木自排局	沿道	12	2.9	1.0	~ 5.2
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	2.2	1.5	~ 3.4
東京都	江東区	京葉道路亀戸局	沿道	12	2.4	1.3	~ 3.4
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	5.0	2.3	~ 10
東京都	世田谷区	環八通り八幡山局	沿道	12	3.2	1.8	~ 6.2
新潟県	長岡市	城岡自排局	沿道	10	2.1	0.46	~ 6.4
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	2.8	1.4	~ 6.1
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	3.9	0.99	~ 8.8
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	2.8	0.58	~ 5.2
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	5.6	1.4	~ 14
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	0.77	0.30	~ 1.6

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

m,p-キシレン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	中央区	中央区晴海局	一般環境	12	1.4	0.84	~ 1.9
東京都	新宿区	国設東京新宿局	一般環境	12	1.3	0.83	~ 2.0
東京都	大田区	大田区東糀谷局	一般環境	12	2.3	1.1	~ 3.5
東京都	世田谷区	世田谷区世田谷局	一般環境	12	1.5	0.87	~ 2.7
東京都	板橋区	板橋区本町局	一般環境	12	1.8	0.93	~ 3.1
東京都	練馬区	練馬区石神井町局	一般環境	12	1.3	0.59	~ 2.1
東京都	足立区	足立区西新井局	一般環境	12	1.9	0.92	~ 4.4
東京都	江戸川区	江戸川区春江町局	一般環境	12	1.3	0.30	~ 2.4
東京都	小金井市	小金井市本町局	一般環境	12	1.4	0.59	~ 1.9
東京都	東大和市	東大和市奈良橋局	一般環境	12	1.6	0.46	~ 2.3
東京都	西多摩郡檜原村	西多摩郡檜原局	一般環境	12	0.34	0.13	~ 0.65
神奈川県	相模原市中央区	市役所測定局	一般環境	4	4.7	2.0	~ 6.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

m,p-キシレン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	江東区	京葉道路亀戸局	沿道	12	1.8	0.95	~ 2.6
東京都	世田谷区	環八通り八幡山局	沿道	12	2.4	1.3	~ 4.5

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

o-キシレン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	中央区	中央区晴海局	一般環境	12	0.49	0.31	~ 0.68
東京都	新宿区	国設東京新宿局	一般環境	12	0.46	0.30	~ 0.72
東京都	大田区	大田区東糀谷局	一般環境	12	0.75	0.36	~ 1.0
東京都	世田谷区	世田谷区世田谷局	一般環境	12	0.54	0.30	~ 1.0
東京都	板橋区	板橋区本町局	一般環境	12	0.61	0.33	~ 1.0
東京都	練馬区	練馬区石神井町局	一般環境	12	0.47	0.22	~ 0.73
東京都	足立区	足立区西新井局	一般環境	12	0.67	0.34	~ 1.5
東京都	江戸川区	江戸川区春江町局	一般環境	12	0.46	0.13	~ 0.78
東京都	小金井市	小金井市本町局	一般環境	12	0.48	0.21	~ 0.73
東京都	東大和市	東大和市奈良橋局	一般環境	12	0.55	0.18	~ 0.89
東京都	西多摩郡檜原村	西多摩郡檜原局	一般環境	12	0.17	(0.07)	~ 0.34
神奈川県	相模原市中央区	市役所測定局	一般環境	4	1.8	0.79	~ 2.4

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

o-キシレン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	江東区	京葉道路亀戸局	沿道	12	0.62	0.35	~ 0.84
東京都	世田谷区	環八通り八幡山局	沿道	12	0.85	0.47	~ 1.7

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

銀及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.51	0.021	~ 1.3
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	(0.31)	(< 0.6)	~ (< 0.6)
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.68	(< 0.6)	~ 4.8
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	(0.34)	(< 0.6)	~ (0.7)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、[?] < (該当月の検出下限値)[?]として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、[?] (測定値)[?]として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

銀及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.33	0.048	~ 0.81
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.41	0.050	~ 0.78
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	(0.42)	(< 0.6)	~ (1.6)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

クロロベンゼン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.033	(< 0.007)	~ 0.14
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.028	(< 0.006)	~ 0.068
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.023	(< 0.005)	~ 0.044
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.020	(< 0.005)	~ 0.049
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	(0.0027)	(< 0.0022)	~ (< 0.007)
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	(0.0026)	(< 0.0022)	~ (< 0.008)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

クロロベンゼン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.023	(< 0.007)	~ 0.048
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.025	(0.010)	~ 0.054
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.016	(< 0.005)	~ 0.042

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{(該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値) 』 として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

コバルト及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	日の出測定局	一般環境	12	0.28	0.097	~ 0.57
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.49	0.23	~ 1.8
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.27	0.072	~ 0.67
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.37	0.13	~ 1.3
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.26	0.080	~ 0.71

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

コバルト及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	川南測定局	沿道	12	0.29	0.15	~ 0.60
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.46	0.16	~ 0.63
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.74	0.37	~ 1.5
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.44	0.15	~ 1.4

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

酢酸ビニル(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	3.0	1.9	~ 5.0
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	10	0.041	(< 0.04)	~ (0.09)
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	10	0.049	(< 0.04)	~ 0.19
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	10	0.048	(< 0.04)	~ 0.22

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

酢酸ビニル(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	3.3	2.3	~ 4.7
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	6.8	2.8	~ 13
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	10	(0.036)	(< 0.04)	~ (0.09)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値) 』 として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

酸化プロピレン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
千葉県	銚子市	銚子唐子局	一般環境	12	0.059	(0.008)	~ 0.22
千葉県	館山市	安房保健所	一般環境	12	0.071	(0.006)	~ 0.34
千葉県	成田市	成田加良部局	一般環境	12	0.11	0.014	~ 0.39
千葉県	鴨川市	清澄無線局	一般環境	12	0.045	(< 0.006)	~ 0.075
千葉県	君津市	君津久保局	一般環境	12	0.054	(0.009)	~ 0.16
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.067	0.025	~ 0.17
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.022	(< 0.009)	~ 0.053
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.034	(0.015)	~ 0.096
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.022	(< 0.009)	~ 0.042

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{?}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値}) \text{?}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

酸化プロピレン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
千葉県	市原市	市原岩崎西局	発生源周辺	11	0.098	0.013	~ 0.40
千葉県	袖ヶ浦市	袖ヶ浦長浦局	発生源周辺	12	1.2	0.029	~ 4.0

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

酸化プロピレン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.10	0.029	~ 0.31
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.088	0.023	~ 0.25
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.025	(< 0.009)	~ 0.042

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

四塩化炭素（一般環境）

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	日の出測定局	一般環境	12	0.63	0.55	~ 0.73
千葉県	銚子市	銚子唐子局	一般環境	11	0.46	(0.12)	~ 0.64
千葉県	館山市	安房保健所	一般環境	11	0.48	(0.15)	~ 0.67
千葉県	成田市	成田加良部局	一般環境	11	0.47	(0.14)	~ 0.65
千葉県	鴨川市	清澄無線局	一般環境	11	0.47	(0.14)	~ 0.64
千葉県	君津市	君津久保局	一般環境	12	0.54	(0.20)	~ 0.87
東京都	中央区	中央区晴海局	一般環境	12	0.53	0.41	~ 0.72
東京都	新宿区	国設東京新宿局	一般環境	12	0.50	0.40	~ 0.68
東京都	大田区	大田区東糀谷局	一般環境	12	0.49	0.37	~ 0.65
東京都	世田谷区	世田谷区世田谷局	一般環境	12	0.50	0.38	~ 0.65
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.66	0.60	~ 0.70
東京都	板橋区	板橋区本町局	一般環境	12	0.52	0.43	~ 0.64
東京都	練馬区	練馬区石神井町局	一般環境	12	0.56	0.47	~ 0.77
東京都	足立区	足立区西新井局	一般環境	12	0.58	0.40	~ 0.83
東京都	江戸川区	江戸川区春江町局	一般環境	12	0.55	0.41	~ 0.75
東京都	八王子市	大楽寺町局	一般環境	12	0.51	0.41	~ 0.60
東京都	八王子市	片倉町局	一般環境	12	0.51	0.39	~ 0.62
東京都	小金井市	小金井市本町局	一般環境	12	0.55	0.38	~ 0.87
東京都	東大和市	東大和市奈良橋局	一般環境	12	0.55	0.36	~ 0.78
東京都	西多摩郡檜原村	西多摩郡檜原局	一般環境	12	0.49	0.35	~ 0.66
神奈川県	横浜市緑区	緑区三保小学校局	一般環境	12	0.56	0.51	~ 0.61
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.53	0.38	~ 0.65
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.52	0.39	~ 0.64
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	(社)	0.52	0.39	~ 0.63
奈良県	天理市	天理局	一般環境	12	0.65	0.49	~ 1.0
徳島県	鳴門市	鳴門局	一般環境	12	0.62	0.29	~ 1.2
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	0.80	0.60	~ 1.2
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	0.87	0.62	~ 1.4

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{(該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

四塩化炭素(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
千葉県	市原市	市原岩崎西局	発生源周辺	11	0.52	(0.23)	~ 0.72
千葉県	袖ヶ浦市	袖ヶ浦長浦局	発生源周辺	11	0.50	(0.16)	~ 0.79
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区潮田交流プラザ局	発生源周辺	12	0.57	0.53	~ 0.65
神奈川県	横浜市中区	中区本牧局	発生源周辺	12	0.53	0.46	~ 0.60
徳島県	阿南市	大渦局	発生源周辺	12	0.68	0.29	~ 1.2
徳島県	板野郡北島町	北島局	発生源周辺	12	0.63	0.29	~ 1.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

四塩化炭素(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	川南測定局	沿道	12	0.63	0.55	~ 0.80
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.66	0.60	~ 0.71
東京都	江東区	京葉道路亀戸局	沿道	12	0.53	0.37	~ 0.79
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.66	0.59	~ 0.92
東京都	世田谷区	環八通り八幡山局	沿道	12	0.50	0.40	~ 0.59
神奈川県	横浜市磯子区	磯子区滝頭局	沿道	12	0.56	0.51	~ 0.63
神奈川県	横浜市戸塚区	戸塚区矢沢交差点局	沿道	12	0.56	0.52	~ 0.61
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.52	0.40	~ 0.61
徳島県	徳島市	自排徳島局	沿道	12	0.61	0.22	~ 1.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.1-ジクロロエチレン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	(0.0099)	(< 0.005)	~ (0.021)
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	(0.0034)	(< 0.007)	~ (< 0.007)
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	(0.0034)	(< 0.007)	~ (< 0.007)
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	(0.0034)	(< 0.007)	~ (< 0.007)
徳島県	鳴門市	鳴門局	一般環境	12	0.011	(< 0.0014)	~ 0.049
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	(0.016)	(< 0.004)	~ (< 0.08)
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	(0.017)	(< 0.004)	~ (< 0.08)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.1-ジクロロエチレン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
徳島県	阿南市	大湯局	発生源周辺	12	(0.0067)	(< 0.0005)	~ 0.028
徳島県	板野郡北島町	北島局	発生源周辺	12	0.033	(< 0.0014)	~ 0.15

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.1-ジクロロエチレン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	(0.012)	(< 0.005)	~ 0.026
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	(0.011)	(< 0.005)	~ 0.030
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	(0.0038)	(< 0.007)	~ (0.008)
徳島県	徳島市	自排徳島局	沿道	12	0.013	(< 0.0014)	~ 0.038

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 ^{e} < (該当月の検出下限値) ^{e} として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 ^{e} (測定値) ^{e} として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.2-ジクロロエチレン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	(0.0072)	(< 0.007)	~ (0.021)
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	(0.0045)	(< 0.006)	~ (0.013)
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	(0.0038)	(< 0.006)	~ (0.011)
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	(0.0032)	(< 0.006)	~ (< 0.006)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.2-ジクロロエチレン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	(0.0067)	(< 0.007)	~ (< 0.018)
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	(0.0075)	(< 0.007)	~ (< 0.018)
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	(0.0032)	(< 0.006)	~ (< 0.006)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{(該当月の検出下限値)]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値)] として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

cis-1,2-ジクロロエチレン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	(0.0049)	(< 0.004)	~ (< 0.017)
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	(0.0052)	(< 0.004)	~ (< 0.018)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.2-ジクロロプロパン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.14	(0.043)	~ 0.38
神奈川県	横浜市緑区	緑区三保小学校局	一般環境	12	0.084	(< 0.007)	~ 0.23
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.099	0.057	~ 0.18
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.046	(< 0.006)	~ 0.089
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.044	(< 0.006)	~ 0.082
徳島県	鳴門市	鳴門局	一般環境	12	0.11	0.016	~ 0.27
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	0.12	(< 0.006)	~ 0.26
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	0.096	(< 0.006)	~ 0.20

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.2-ジクロロプロパン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区潮田交流プラザ局	発生源周辺	12	0.12	0.049	~ 0.36
神奈川県	横浜市中区	中区本牧局	発生源周辺	12	0.087 (0.008)	~ 0.23
徳島県	阿南市	大湯局	発生源周辺	12	0.11	0.032	~ 0.23
徳島県	板野郡北島町	北島局	発生源周辺	12	0.11	0.016	~ 0.26

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.2-ジクロロプロパン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.13	(0.029)	~ 0.29
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.11	(0.022)	~ 0.31
神奈川県	横浜市磯子区	磯子区滝頭局	沿道	12	0.091	(< 0.007)	~ 0.22
神奈川県	横浜市戸塚区	戸塚区矢沢交差点局	沿道	12	0.084	(0.012)	~ 0.21
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.059	0.022	~ 0.11
徳島県	徳島市	自排徳島局	沿道	12	0.10	0.026	~ 0.25

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

o-ジクロロベンゼン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.024	(0.012)	~ 0.042
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.055	(< 0.009)	~ 0.20
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.028	(< 0.009)	~ 0.13
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.012	(< 0.009)	~ 0.086
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	0.088	(< 0.006)	~ 0.26
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	0.084	(< 0.006)	~ 0.26

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

o-ジクロロベンゼン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.022	(< 0.015)	~ 0.037
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.024	(< 0.015)	~ 0.043
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.013	(< 0.009)	~ 0.084

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{(該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

p-ジクロロベンゼン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	2.3	0.48	~ 4.7
神奈川県	小田原市	小田原市役所局	一般環境	4	0.40	0.18	~ 0.55
神奈川県	秦野市	秦野市役所局	一般環境	4	0.49	0.32	~ 0.70
神奈川県	厚木市	厚木市役所局	一般環境	4	0.40	0.20	~ 0.58
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.88	0.12	~ 1.8
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.78	0.13	~ 1.6
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.94	0.28	~ 2.4
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	0.48	0.15	~ 1.3
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	0.33	(< 0.009)	~ 1.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

p-ジクロロベンゼン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.88	0.27	~ 1.9
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	2.4	0.49	~ 5.4
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.96	0.16	~ 2.2

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ジベンゾ[a,h]アントラセン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.081	0.022	~ 0.21
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.17	(< 0.010)	~ 1.3
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.12	(< 0.010)	~ 0.76
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.11	(< 0.009)	~ 1.0

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、[?] < (該当月の検出下限値) として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、[?] (測定値) として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ジベンゾ[a,h]アントラセン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.079	(< 0.012)	~ 0.29
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.029	(0.0038)	~ 0.072
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.14	(< 0.009)	~ 1.3

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

有機スズ化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	2.7	1.3	~ 4.6
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	3.2	(1.0)	~ 7.2
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	2.4	(< 0.6)	~ 8.4
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	2.7	(0.8)	~ 5.1

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、[?] < (該当月の検出下限値) として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、[?] (測定値) として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

有機スズ化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	3.8	1.9	~ 7.1
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	4.7	2.4	~ 8.4
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	3.2	(1.1)	~ 6.5

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

スチレン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	日の出測定局	一般環境	12	0.17	0.089	~ 0.33
東京都	中央区	中央区晴海局	一般環境	12	0.17	0.084	~ 0.34
東京都	新宿区	国設東京新宿局	一般環境	12	0.14	0.070	~ 0.21
東京都	大田区	大田区東糺谷局	一般環境	12	0.29	0.11	~ 0.75
東京都	世田谷区	世田谷区世田谷局	一般環境	12	0.17	0.077	~ 0.28
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.19	0.078	~ 0.35
東京都	板橋区	板橋区本町局	一般環境	12	0.17	0.082	~ 0.27
東京都	練馬区	練馬区石神井町局	一般環境	12	0.13	0.073	~ 0.20
東京都	足立区	足立区西新井局	一般環境	12	0.18	0.098	~ 0.31
東京都	江戸川区	江戸川区春江町局	一般環境	12	0.14	(0.049)	~ 0.25
東京都	八王子市	大楽寺町局	一般環境	12	0.13	0.080	~ 0.20
東京都	八王子市	片倉町局	一般環境	12	0.21	0.088	~ 0.49
東京都	小金井市	小金井市本町局	一般環境	12	0.21	0.089	~ 1.0
東京都	東大和市	東大和市奈良橋局	一般環境	12	0.16	0.063	~ 0.29
東京都	西多摩郡檜原村	西多摩郡檜原局	一般環境	12	0.037	(< 0.020)	~ 0.068
神奈川県	小田原市	小田原市役所局	一般環境	4	0.084	(< 0.004)	~ 0.21
神奈川県	秦野市	秦野市役所局	一般環境	4	0.32	0.026	~ 0.73
神奈川県	厚木市	厚木市役所局	一般環境	4	0.24	0.10	~ 0.36
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.21	0.040	~ 0.68
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.23	0.026	~ 0.50
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.32	0.060	~ 0.58
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	0.16	0.082	~ 0.32
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	0.075	(< 0.013)	~ 0.18

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{(該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

スチレン(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
神奈川県	南足柄市	南足柄市りんどう会館	発生源周辺	4	0.091	(< 0.004)	~ 0.24

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値) 』 として表示している。
- ・最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

スチレン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	川南測定局	沿道	12	0.18	0.077	~ 0.34
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.20	0.14	~ 0.31
東京都	江東区	京葉道路亀戸局	沿道	12	0.26	0.13	~ 0.95
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.42	0.17	~ 1.3
東京都	世田谷区	環八通り八幡山局	沿道	12	0.22	0.098	~ 0.46
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.34	0.23	~ 0.72

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

セレン及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.77	0.32	~ 1.6
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.58	(< 0.10)	~ 2.0
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.68	(0.14)	~ 1.7
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.54	(0.11)	~ 1.4

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、[?] < (該当月の検出下限値)[?]として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、[?] (測定値)[?]として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

セレン及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.82	0.33	~ 1.6
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.75	0.19	~ 1.8
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.62	(0.18)	~ 1.5

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.1.2.2-テトラクロロエタン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	(0.0028)	(< 0.003)	~ (< 0.005)
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	(0.0048)	(< 0.010)	~ (< 0.010)
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	(0.0048)	(< 0.010)	~ (< 0.010)
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	(0.0048)	(< 0.010)	~ (< 0.010)
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	(0.0080)	(0.003)	~ (< 0.03)
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	(0.0081)	(< 0.006)	~ (< 0.04)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.1.2.2-テトラクロロエタン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	(0.0032)	(< 0.003)	~ (0.008)
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	(0.0045)	(< 0.003)	~ (0.012)
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	(0.0048)	(< 0.010)	~ (< 0.010)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値) 』 として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

銅及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
埼玉県	さいたま市大宮区	大宮区役所	一般環境	12	17	6.0	~ 42
埼玉県	さいたま市中央区	健康科学研究センター	一般環境	12	13	5.6	~ 35
埼玉県	さいたま市浦和区	さいたま市役所測定局	一般環境	12	13	6.3	~ 35
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	20	7.5	~ 40
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	16	5.9	~ 30
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	13	7.0	~ 23
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	11	3.6	~ 22

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

銅及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	41	24	60
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	56	25	89
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	16	8.8	24

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値) 』 として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.1.2-トリクロロエタン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	(0.0096)	(< 0.006)	~ (0.028)
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	(0.0034)	(< 0.007)	~ (< 0.007)
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	(0.0034)	(< 0.007)	~ (< 0.007)
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	(0.0034)	(< 0.007)	~ (< 0.007)
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	(0.0053)	(< 0.004)	~ (< 0.018)
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	(0.0057)	(< 0.004)	~ (< 0.019)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.1.2-トリクロロエタン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		
						最小値	～	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	(0.010)	(< 0.006)	～	0.029
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	(0.010)	(< 0.006)	～	0.025
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	(0.0034)	(< 0.007)	～	(< 0.007)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.2.4-トリクロロベンゼン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.025	(< 0.017)	~ (0.050)
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	(0.010)	(< 0.014)	~ (0.026)
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.014	(< 0.014)	~ 0.067
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	(0.0083)	(< 0.014)	~ (0.023)
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	(0.019)	(< 0.008)	~ (< 0.08)
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	(0.024)	(< 0.008)	~ (0.13)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

1.2.4-トリクロロベンゼン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.032	(0.015)	~ 0.085
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.034	(< 0.015)	~ 0.066
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	(0.0092)	(< 0.014)	~ (0.034)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値) 』 として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

二酸化エチレン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	(0.0023)	(< 0.003)	~ (< 0.006)
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	(0.0049)	(< 0.010)	~ (< 0.010)
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	(0.0049)	(< 0.010)	~ (< 0.010)
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	(0.0049)	(< 0.010)	~ (< 0.010)
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	(0.0054)	(< 0.004)	~ (< 0.03)
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	(0.0054)	(< 0.004)	~ (< 0.03)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

二酸化エチレン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	(0.0023)	(< 0.003)	~ (< 0.006)
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	(0.0034)	(< 0.004)	~ 0.014
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	(0.0049)	(< 0.010)	~ (< 0.010)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{(該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値) 』 として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

バナジウム及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	日の出測定局	一般環境	12	3.5	0.99	~ 7.4
埼玉県	さいたま市大宮区	大宮区役所	一般環境	12	4.6	0.77	~ 12
埼玉県	さいたま市中央区	健康科学研究センター	一般環境	12	4.6	0.81	~ 14
埼玉県	さいたま市浦和区	さいたま市役所測定局	一般環境	12	4.2	0.63	~ 11
埼玉県	熊谷市	熊谷局	一般環境	12	4.0	0.93	~ 15
埼玉県	所沢市	北野測定局	一般環境	4	2.1	1.2	~ 3.0
埼玉県	所沢市	教育センター	一般環境	12	3.4	0.79	~ 7.6
埼玉県	加須市	環境科学国際C局	一般環境	12	3.4	0.80	~ 11
埼玉県	東松山市	東松山局	一般環境	12	3.6	1.4	~ 10
埼玉県	春日部市	春日部市役所	一般環境	12	4.3	0.93	~ 11
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	7.1	0.94	~ 16
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	3.3	0.29	~ 9.4
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	7.4	2.6	~ 32
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	2.2	0.34	~ 4.7

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{〃} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{〃} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

バナジウム及びその化合物(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
埼玉県	秩父市	秩父市役所	発生源周辺	12	2.1	0.78	~ 5.6
大分県	津久見市	津久見市役所局	発生源周辺	12	4.9	1.3	~ 20

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

バナジウム及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
北海道	千歳市	川南測定局	沿道	12	3.2	1.2	~ 6.3
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	7.2	1.2	~ 18
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	9.6	2.0	~ 23
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	2.4	0.63	~ 5.0

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ビレン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.20	0.050 ~	0.33
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	1.5	0.43 ~	2.8
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	1.5	0.53 ~	4.2
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	1.2	0.50 ~	1.6

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} < (\text{該当月の検出下限値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{?}} (\text{測定値}) \text{ }^{\text{?}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ビレン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.21	0.083	~ 0.38
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.54	0.12	~ 1.3
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	11	1.9	1.0	~ 2.4

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

プロモタン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.056	0.038	~ 0.094
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.047	0.030	~ 0.079
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.11	0.031	~ 0.37
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.041	0.029	~ 0.057
高知県	須崎市	須崎福祉保健所局	一般環境	12	0.55	0.15	~ 2.2
高知県	吾川郡いの町	伊野合同庁舎局	一般環境	12	0.13	(< 0.020)	~ 0.26

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{?} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{?} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

プロモタン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.093	(< 0.0029)	~ 0.55
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.094	0.036	~ 0.50
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.040	0.027	~ 0.058

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{(該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ヘキサ(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		
						最小値	～	最大値
北海道	札幌市北区	国設札幌局	一般環境	11	1.8	0.49	～	3.8
北海道	苫小牧市	双葉局	一般環境	11	0.63	0.22	～	1.2
岩手県	盛岡市	津志田測定局	一般環境	11	1.3	0.17	～	4.7
宮城県	遠田郡涌谷町	国設籠岳局	一般環境	11	0.52	0.12	～	1.1
秋田県	秋田市	山王大気測定局	一般環境	11	4.5	0.83	～	12
茨城県	那珂市	那珂測定局	一般環境	12	1.0	0.36	～	2.7
栃木県	足利市	足利市役所	一般環境	12	1.2	0.61	～	2.4
埼玉県	越谷市	大袋地区センター	一般環境	12	3.4	0.86	～	10
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	2.4	1.2	～	5.2
神奈川県	川崎市川崎区	国設川崎局	一般環境	12	2.3	1.2	～	4.5
新潟県	新潟市秋葉区	新津一般環境大気測定局	一般環境	12	0.81	0.55	～	1.3
石川県	白山市	松任測定局	一般環境	12	1.1	(0.22)	～	5.1
長野県	佐久市	佐久合同庁舎局	一般環境	12	2.4	0.32	～	13
岐阜県	岐阜市	岐阜市北部測定局	一般環境	12	0.73	0.39	～	1.9
静岡県	湖西市	湖西市役所局	一般環境	12	0.86	0.29	～	1.6
愛知県	名古屋市千種区	国設名古屋局	一般環境	12	1.1	0.33	～	1.7
滋賀県	大津市	南小松測定所	一般環境	12	0.60	(0.072)	～	1.5
京都府	福知山市	福知山測定局	一般環境	12	0.77	0.22	～	2.1
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	1.8	0.46	～	4.6
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	1.1	0.35	～	2.0
兵庫県	神戸市兵庫区	兵庫南部大気測定局	一般環境	12	2.2	0.46	～	7.8
奈良県	北葛城郡王寺町	王寺局	一般環境	12	2.0	0.66	～	5.8
和歌山県	和歌山市	市役所高松連絡所	一般環境	12	1.5	0.56	～	2.9
鳥取県	倉吉市	倉吉保健所局	一般環境	12	0.45	0.22	～	0.68
鳥根県	隠岐郡隠岐の島町	国設隠岐局	一般環境	12	0.17	0.060	～	0.36
広島県	広島市西区	三篠小学校測定局	一般環境	12	1.5	0.63	～	2.7
山口県	下関市	下関市長府東局	一般環境	12	0.80	0.31	～	1.4
徳島県	板野郡藍住町	藍住局	一般環境	12	0.56	0.22	～	1.6
高知県	南国市	南国大篠測定局	一般環境	12	0.58	0.27	～	0.94
長崎県	佐世保市	早岐一般大気環境測定局	一般環境	12	1.6	0.60	～	4.4
長崎県	対馬市	国設対馬酸性雨測定所	一般環境	12	0.63	0.27	～	1.4
大分県	竹田市	竹田市久住総合支所	一般環境	12	0.52	0.23	～	1.1
鹿児島県	鹿児島市	環境保健センター測定局	一般環境	12	2.6	0.58	～	9.1
沖縄県	国頭郡国頭村	国設辺戸岬酸性雨測定所	一般環境	12	0.72	0.14	～	1.4

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{(該当月の検出下限値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 (測定値) } \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ヘキサソ(発生源周辺)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
青森県	八戸市	根岸小学校局	発生源周辺	11	1.8	0.55	~ 3.0
福島県	いわき市	小名浜玉川町内	発生源周辺	11	1.7	0.19	~ 3.1
千葉県	富津市	富津下飯野局	発生源周辺	12	1.6	0.67	~ 3.4
神奈川県	横浜市鶴見区	鶴見区生麦小学校測定局	発生源周辺	12	3.5	0.98	~ 11
山梨県	甲斐市	山梨県立農林高等学校	発生源周辺	12	1.7	0.47	~ 3.6
三重県	四日市市	三浜小学校測定局	発生源周辺	12	2.0	0.24	~ 6.6
鳥根県	安来市	安来中央公民館	発生源周辺	12	0.43	0.25	~ 0.71
愛媛県	伊予郡松前町	松前一般環境大気測定局	発生源周辺	12	0.62	0.24	~ 1.5
福岡県	北九州市八幡西区	黒崎観測局	発生源周辺	12	1.9	0.17	~ 7.8
福岡県	大牟田市	八本測定局	発生源周辺	12	1.6	0.63	~ 4.6

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < (\text{該当月の検出下限値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{『 } (\text{測定値}) \text{』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ヘキサン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
宮城県	仙台市泉区	長命測定局	沿道	11	2.0	0.96	~ 5.5
群馬県	館林市	館林自排局	沿道	12	2.5	0.95	~ 6.9
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	2.1	1.4	~ 3.3
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	3.6	1.7	~ 5.8
富山県	富山市	自動車排ガス測定局富山豊田局	沿道	12	1.7	0.27	~ 7.8
愛知県	海部郡飛鳥村	飛鳥自動車排ガス測定局	沿道	12	1.2	0.33	~ 2.7
岡山県	倉敷市	大高測定局	沿道	12	0.88	0.36	~ 1.4
香川県	坂出市	県営水道宇多津ポンプ場	沿道	12	1.5	0.61	~ 4.9
佐賀県	鳥栖市	曾根崎局	沿道	12	2.0	0.78	~ 9.0

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{〃} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{〃} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ベンゾ[a]アントラセン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.14	0.029	~ 0.27
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.41	(0.08)	~ 1.0
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.44	(0.09)	~ 1.2
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.31	(0.12)	~ 0.68

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、[?] < (該当月の検出下限値) _? として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、[?] (測定値) _? として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ベンゾ[a]アントラセン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.15	0.059	~ 0.26
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.30	0.071	~ 0.55
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	11	0.38	(0.15)	~ 0.75

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ベンゾ[e]ピレン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.33	0.083	~ 0.69
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.26	0.050	~ 0.86
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.29	0.022	~ 0.92
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.20	0.047	~ 0.65

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{〃} < (\text{該当月の検出下限値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{〃} (\text{測定値})$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ベンゾ[e]ピレン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.36	0.060	~ 1.0
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.44	0.18	~ 0.98
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.26	0.050	~ 0.75

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ベンゾ[b]フルオランテン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.27	0.095	~ 0.51

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値) 』 として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ベンゾ[b]フルオランテン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.28	0.059	~ 0.68
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.22	0.10	~ 0.47

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ベンゾ[j]フルオランテン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.21	0.057	~ 0.41

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値) 』 として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ベンゾ[j]フルオランテン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.22	0.048	~ 0.53
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.24	0.079	~ 0.47

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ベンゾ[k]フルオランテン(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.15	0.045	~ 0.29

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{ (該当月の検出下限値) 』}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値) 』 として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

ベンゾ[k]フルオランテン(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.16	0.034	~ 0.40
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.13	0.044	~ 0.26

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

メタクリル酸メチル(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	0.12	(0.034)	~ 0.35
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	0.30	(< 0.005)	~ 0.77
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	0.22	(< 0.005)	~ 0.58
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.25	0.034	~ 0.55

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{①}}$ < (該当月の検出下限値) $\text{ }^{\text{②}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 $\text{ }^{\text{①}}$ (測定値) $\text{ }^{\text{②}}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

メタクリル酸メチル(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	0.11	(< 0.04)	~ 0.24
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	0.13	(< 0.04)	~ 0.44
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	0.28	0.062	~ 0.68

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、 $\text{『 } < \text{(該当月の検出下限値)]}$ として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、 『 (測定値)] として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

モリブデン及びその化合物(一般環境)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	荒川区	荒川区南千住測定局	一般環境	11	3.0	0.86	~ 8.9
大阪府	大阪市東成区	国設大阪局	一般環境	12	1.0	(< 0.7)	~ 3.2
大阪府	岸和田市	岸和田中央公園	一般環境	12	1.5	(< 0.7)	~ 7.3
大阪府	四條畷市	(社)シルバー人材センター	一般環境	12	0.86	(< 0.7)	~ (1.8)

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、[?] < (該当月の検出下限値)[?]として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、[?] (測定値)[?]として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。

モリブデン及びその化合物(沿道)

都道府県名	所在地	測定地点名	地域分類	検体数	平均値 (ng/m3)	濃度範囲(ng/m3)	
						最小値	最大値
東京都	千代田区	日比谷交差点測定局	沿道	11	2.9	1.3	~ 6.6
東京都	大田区	環七通り松原橋自動車排ガス測定局	沿道	11	3.9	2.0	~ 6.6
大阪府	四條畷市	国設四條畷交通環境測定局	沿道	12	1.0	(< 0.7)	~ 2.4

年平均値の表示方法：年平均値が、各月の最大検出下限値未満であった場合は、その値を括弧書きで表示している。

濃度範囲(最小値～最大値)の表示方法：

- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値未満であった場合は、『 < (該当月の検出下限値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値が、検出下限値以上定量下限値未満であった場合は、『 (測定値) 』として表示している。
- ・ 最小値又は最大値の値は、JIS Z 8401によって数値を丸め、有効数字2桁として表示している。ただし、試料における定量下限値の桁までとし、それより下の桁は表示しない。